

アルツハイマー病の 予防に関する治験が 始まっています 参加をご検討ください

対象となる方

- ✓ 65～80歳の男女
- ✓ 認知症と診断されていない
- ✓ ご本人に加え治験に協力いただける協力者（日常の活動や認知機能などをよく把握している方）がいる

知りたいことがあれば、何でも聞いてください。

※上記以外にも参加条件がございます。
ご応募をいただいた後、お電話で確認させていただきます。

アルツハイマー病の予防に関する治験について

アルツハイマー病について

アルツハイマー病は認知症の原因として最も多い病気であり、脳の中にアミロイドβ（ベータ）というタンパク質が蓄積することで、次第に認知機能の低下が起こると考えられています。

原因と考えられるアミロイドβは、実際にもの忘れがはっきりしてくる10年から20年程前からすでに脳の中に蓄積がはじまっています。早期のアルツハイマー病はアミロイドβが蓄積しはじめているものの、認知機能の低下や思考障害*がまだ起こっていない状態や低下がみられても初期の状態をいいます。

*服を着るのに時間がかかる、料理を作る際に調味料がわからなくなるなど



治験の概要

本治験は、治験薬を用いてアミロイドβを取り除くことによって、認知機能低下や思考障害の発症・進行を遅らせることができるかを検証することを目的としています。治験期間は4年半～6年半の予定です。

治験薬について

薬効成分を含む注射剤または薬効成分を含まない注射剤（プラセボ（偽薬））のいずれかをご使用いただけます。なお、それぞれの注射剤に割り当てられる確率は約50%です。なお、プラセボ（偽薬）を使用した方については、規定の期間は完了し、一定の基準を満たした場合、薬効成分を含む注射剤をご使用いただけます。

お問い合わせ先

負担軽減費をお支払い致します

治験実施施設：医療法人社団 ブックス ブックスクリニック福岡

治験責任医師：藤野 稔 本試験専用ダイヤル：080-3909-6098

お問合せ窓口：ノイエス株式会社（受付時間 10:00～17:00）

最寄り駅：福岡市営地下鉄 中洲川端駅

作成日：2025年2月4日（第1.0版）